

会員数	93,821	(前月比) +	151
手配り	29,053	(前月比) +	9
郵送	8,928	(前月比) +	8
会員世帯数	40,762(10/31現在) [前月比 61増]		
協同基金到達額	2,504,854,000円(10/31現在)		
	[前月比 1,673,000減]		
協同基金出資者数	22,241名(10/31現在)		



2023
12
No.483

発行
健康友の会 みみはら



本部事務局組織部
機関紙編集委員会

〒590-0821
堺市堺区大仙西町6丁184-2
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860

1部30円

第14期

保健学校

口腔ケアのおはなし



健診結果の見方

	講座	講師
第1課 9/1	健診の意義と目的	組織健診課 松浦医師
	がん検診の有効性	診療情報管理課 福西さん
第2課 9/15	健診結果の見方	検査技師 貝野さん
	公的健診の内容と受診方法	組織健診課 田村さん
第3課 10/6	生活習慣病の予防のための食事	管理栄養士 林野さん
	生活習慣病予防のための運動	健康運動指導士 春川さん
	口腔ケア	歯科 松岡歯科医師
第4課 10/20	特定保健指導とは	保健師 植山さん 看護師 天野さん
	友の会と健診活動	組織部 篠原さん

正しい保健予防の知識を身につけて 健康寿命の輪を拡げよう



11の方が修了

9月1日から10月20日まで第1・3金曜日の4回、健診推進委員会と健康づくり会議の共催で、第14期保健学校が開催された。



フレイル予防の実技指導

来月11月には、保健学校の全講義受講者11人には修了証書を渡しました。今回は、健診の意義や目的、検査データの読み方や予防方法を学ぶことを主眼としたカリキュラム。受講者からは「発見経緯や進行度のデータでがん検診の重要性を感じた」「保健指導の実践がわかった」「学んだことを活用したい」との感想が寄せられました。

今回の保健学校で特徴的だったのは職員の参加が多かったことです。職員も会員さんと共に学ぶ機会があるという事は大



輝け憲法!

平和といのちと人権を

11・3 おおさか総がかり集会

憲法が公布されて77年の11月3日、おおさか総がかり集会が5000人の参加で開催されました。

憲法学者の清末愛砂さんは、学生時代からパレスチナ支援に参加しています。国際社会が見逃してきたイスラエルの国際法違反を許さないのは、憲法学者としての矜持であり、日本は9条を持つ国として、公正公平な立場で国際法にもとづく解決を訴えるべき。直ちに停戦、封鎖を解除させようと、力強く訴えました。宮古島の清水早子さんが「南の島に自衛隊基地、ミサイル基地はいらない」の訴えと、立憲野党からの連帯のあいさつがありました。

集会後「いかそう憲法」「とめよう大軍拡」のポスターを掲げ、中崎町、西梅田の2コースで市民パレードを行いました。



切だなと感じました。今後も多くの職員の参加に期待します。参加された会員の皆さん、今回の保健学校で学んだことを地域に持って帰って、健診を勧め、健康の輪を拡げていただけたらと思います。

(健康づくり会議)

聴診器

12月8日太平洋戦争開戦の日、82年前の1941年。小学校は既に国民学校に変更され、音階は「ドミソ」から「ハホト」と和名に、軍隊ではカレライスを「辛味入り汁かけめし」と言ったそう。国防色という色もあり、軍事一色▼しかし、こんな中で侵略戦争反対の活動をしたのは、大阪市立大学(現大阪公立大学)の教員や学生100人近く。その中心的存在だったのが経済学博士・上林貞治郎さんです。ただ、開戦2年後の1943年治安維持法違反のかどにより逮捕された。勿論この悪法は戦後廃止され、大学へ復帰▼拘禁中の話をお聞きしました。

「遠くない時期に日本は負ける。大学へ戻ったら、どのように民主化を進めていくか同僚たちと議論した」と▼大学を退職してからも「住みよい堺市をつくる会」代表委員など、数多くの運動に携わり、01年、92歳で逝去された▼戦後78年間も平和が続いている。振り返ると明治・昭和にかけて日清戦争・日露戦争・日中戦争・満州事変・太平洋戦争と約50年間に5回の戦争があった。対して戦後、長期の平和をもたらしたのは、先人たちの活動として「戦争反対・9条守れ」の国民の声です▼敵基地攻撃で平和を築くことはできません。来る年も平和を。(八田兄二)